

4年生・大学院生諸君！ 1次試験まであと77日です！

11月15日～4月22日で既に171枚の練習論文を添削しました。本当によく頑張っていますね。添削回数が10回以上の人は、ほぼ論・例・策の構成を身に付けています。あとは、どんな問題が出ても対応できるよう、前文の書き方、論・例・策の調整の仕方が分かれば完璧です。そこで今回は、裏面に合格論文の再確認を特集しました。これから教育実習等で忙しくなると思いますが、勉強のペースを崩さず、筆記試験対策と論文添削指導を継続してください。そして、一人15回以上の論文添削を受けるよう頑張ってください！7月2日から7月31日まで面接練習、模擬面接を行います。8月14日には都立広尾高校をお借りして学校見学会及び研究協議（直前面接練習）を行います。また、「学習指導要領直前復習講座」も実施します。最終合格まで一緒に頑張りましょう！合格の栄冠はもうすぐです！

3年生・2年生・1年生諸君！

4月16日に実施した「教員採用試験ガイダンス」にナント43人も参加してくれました。君たちの意欲の高さに大いに感動しました。来年、再来年の教員採用試験が楽しみです。ガイダンスでも話しましたが、教員採用試験は先手必勝です。筆記試験の勉強と論文の練習は、今すぐに始めましょう！早ければ早いほど合格可能性が高まります。教職課程センター小金井相談室は、君たちの合格を全力で支援します！その一つとして、早速5月に**3年生・2年生・1年生向け**の「合格論文書き方講習」を実施します。君たちの都合を最大限考慮して、同じ講習を全部で4回行います。そのうちのいずれか1回に参加してください。その日から君たちの合格への道がスタートします！その後は4年生と同様、練習論文の個別添削を始めます。また、秋には筆記試験に関する「教育法規講習」や「学習指導要領講習」も行います。その都度、参加者を募集しますから、それらにも参加してください。来室をお待ちしています。

【実施した行事・実施する行事】

- 1 「論文個別添削」★随時受付 メールでも24時間受付
- 2 「教員採用試験ガイダンス」4月16日(月)12:40～13:10 43人参加。
- 3 「市ヶ谷キャンパス教育法規講習」約50人参加 小金井からも4人が復習しに来てくれました。
- 4 「教育実習向模擬授業」4月23日(月)～5月29日(火) 4年生対象 場所は談話室
- 5 **「3・2・1年生向合格論文書き方講習」★事前申し込み不要 1回受講 受講後添削受付開始**
A:5/14(月)9:50～11:30, B:5/15(火)9:50～11:30, C:5/15(火)3限, D:5/18(金)9:50～11:30
- 6 **「学習指導要領直前復習講座」5月又は6月実施(日程未定)**
- 7 **「個人面接練習」★1回20分間 一人2回 会場は談話室**
7月2日(月), 3日(火), 6日(金), 9日(月), 10日(火), 13日(金), 16日(月), 17日(火), 20日(金) 時程 ①9:50～11:30 ②13:20～15:00 ③15:10～16:50
- 8 **「集団討論・模擬授業後討論練習」★一人2回 会場未定**
7月23日(月), 24日(火), 27日(金)
時程 ①9:50～11:30 ②13:20～15:00 ③15:10～16:50
- 9 **「2次試験対策模擬面接」★1回20分間 一人1回 会場は談話室 面接官は外部講師**
7月30日(月), 31日(火)
時程 ①9:30～11:10 ②11:20～13:00 ③14:00～15:40 ④15:50～17:30
- 10 **「学校見学会及び研究協議(直前面接練習)」★8/14(火)12:30～17:00 場所は都立広尾高校**



【合格論文の再確認】

法政大学生諸君の
全員合格を
期待しています！

★合格論文の書き方について再確認しましょう。

《前文》次の①～④が書いてありますか？

- ① 問題のキーワードが抽象的だったり、複数の意味をもっていたりするとき、それを自分はどうとらえたのか。
例「私は、教師の使命とはどの生徒に対してもその個性を十分伸ばしてあげることであると考える。」
「私は、生きる力の中でも、思考力・判断力・表現力が極めて重要と考える。」
「私は、教員の資質のうち、授業力と生徒理解力が特に重要と考える。」
- ② 問題のキーワードが何故重要なのか。(シンプルに書く。国際到達度調査結果などで無理しない。)
- ③ 「しかし、残念ながら現状は・・・」★否定的なことを書くが、断定しないこと。★子どもの姿がよい。
例「しかし、残念ながら現状は、いじめによる自殺が後を絶たず、心が痛む。」
「しかし、残念ながら現状は、遅刻や身だしなみの乱れが多く、基本的な生活習慣が徹底できていないと聞く。」
「しかし、残念ながら現状は、ややもすると教師の説明だけによる一方的な授業になりがちで、主体的な学習が少ない傾向がある。」
- ④ 論文の結論を書く。
例「私は、中学校数学科教師として、学習指導と社会に開かれた教育課程の視点から主体的・対話的で深い学びを実現する。」

《本文》つまり、柱立ての部分

(柱) 必ず体言止め。キーワードが3つあるときは2つ(柱1と柱2)に分ける。

例「主体的・対話的な学びを行うための学習指導の工夫」
「深い学びを実現するための社会に開かれた教育課程の推進」

(論) 柱1では学習指導と問題のキーワードの、柱2では地域連携と問題のキーワードの関係を1～2行で述べる。

例「授業は、主体的に取り組む態度を育成する上で最適の場面である。」
「学校行事は、社会貢献の精神を育む絶好の機会である。」
「日々の授業の中で友達と学び合うことで、他者を思いやる心は育つ。」
「授業は、教員の生命線である。授業力向上こそ、教員の資質向上に直結する。」
「授業は学校の根幹であり、チーム学校の中心である。授業の充実、チーム学校に不可欠である。」
「生徒は、学校だけで育つわけではない。思いやりの心は、地域や社会の中でも大きく育つ。」

(例) 体験自体はいつも同じでよいが、文末を問題のキーワードに合わせる。今後、教育実習体験と差し替え可。

例「私は、教育実習でICT機器を活用して生徒が学び合いをしている姿を見た。そこで、ICT機器の活用は主体的な学びに極めて有効であると学んだ。この体験から私は、・・・」
「私は、教育実習でICT機器を活用して生徒が学び合いをしている姿を見た。そこで、グループ学習は他者を思いやる心に育成に極めて有効であると学んだ。この体験から私は、・・・」

(策) 策1は(例)の体験に関連した方策を書く。各方策の文末を問題のキーワードに寄せて書くこと！

策は、具体的なものを必ず2つ以上書く！既定の文字数より足りなくなってしまうなら、3つ目の策を書く。

例「グループ学習やペア学習を実施して学び合いをさせ、〇〇を育てる。」
「授業にICT機器を活用し、主体的で対話的な学びをさせる。」
「単元に1回以上実験を行い、〇〇を実現する。」
「日常生活に関連した教材を用いて、生徒に学ぶ意義を感じさせる。」
「授業中に人権侵害の発言があった場合は、毅然として厳しく指導する。」
「毎朝校門に立ち、挨拶運動、遅刻指導、身だしなみ指導を行い、基本的な生活習慣の定着を図る。」
「「身だしなみ週間」「遅刻防止週間」を設定し、生徒会の生徒と一緒に徹底を図る。」
「「家庭学習ノート」に家庭での様子を記入させて家庭との連携を図り、〇〇を実現する。」
「ロールプレイングやディベートを通して、〇〇を育てる。」
「生徒と共に地域清掃ボランティアに参加し、社会貢献の精神を育てる。」
「家庭や地域から講師を招いて、「〇〇」というテーマで講演会(シンポジウム、交流会)を開き、〇〇を図る。」
「学校の様子を学級通信に書いたり、学校公開を実施したりして、〇〇を図る。」
「近隣の小中学校と連携し、生徒を学習ボランティアとして派遣し、〇〇を図る。」
「スクール・ソーシャル・ワーカーと連携し、一層の生徒理解を図る。」
「研修センターの研修会や教科の研究会に参加し、指導法等について自ら研修する。」

《まとめ》次の内容で論文を締めくくる。フォーマットは、各自で用意しておく。(ほとんどの人がよくできています)

①教師としての夢・理想 ②柱の文言が入っている。 ③問題のキーワードが入っている。 ④教師としての決意

